



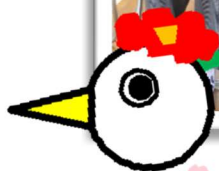
五分だよ！ No.1

長崎県立鶴南特別支援学校五島分校

4月10日(木) 鶴南特別支援学校五島分校の着任式・始業式・入学式が執り行われました。小学部3名、中学部2名、高等部6名の入学生を迎え、鶴南特別支援学校五島分校の新たな1年がスタートしました。新入生は、厳かな雰囲気緊張した表情を見せながらも、立派な態度で式に参加することができました。これから鶴南五島分校の一員として、夢と希望をもって学校生活を楽しんでもらいたいと思います。

～入学式の様子～

おめでとう！



「 一人一人の可能性を信じて 」



令和7年度がスタートしました。3月は別れの月で、慣れ親しんだ友達や先生方との別れがあり、悲しい時間を過ごした人もいたかと思います。しかし、別れがあれば出会いもあります。新しいお友達や先生方を迎えて、五島分校の新しい一年が幕を開けました。

さて、私自身も一昨年、みなさんと涙のお別れをしましたが、またこうして五分だよりを書ける喜びを、今感じています。五島分校在職時は、教頭が最終号を書くことが多かったので、最後に書いたのは「卒業するみなさんへ～「はたらく」とは～」というタイトルだったかと思います。私は、その文章の中で「周りの誰かに『あなたは私にとって必要だよ』と思われた時点で、その人は誰かの心の支えであり、その人の役に立っている存在であるはずでず。その人ができることで、周囲の人の心や体を支えたり「ありがとう」という気持ちを芽生えさせたりすることも「はたらく」ということになるのではないのでしょうか。」と書きました。この言葉は、自分自身が大切にしている思いでもあります。

3月まで虹の原特別支援学校に在職していましたが、50人以上の高等部生徒が卒業してきました。高等部の生徒とは一緒に修学旅行に行ったり、体育祭やまつりなど一緒に活動したりすることが多く、特に思い出がありました。卒業式の日「先生バイバイ!」と言って帰って行く最後の後ろ姿を見たときに、改めて「全員に幸せになってほしい」と感じました。

私たち教師は、携わった子供たち一人一人が将来、幸せに生きていくことを願っています。子供たち一人一人の可能性を信じて、子供たちが一人で出来ることが増えて、将来、少しでも生きやすい人生になるように日々の教育活動を行っています。

新しい一年がスタートします。この一年で、子供たちがさらなる成長を遂げるためには、学校と家庭の協力や連携が必要だと思っています。どうかこの一年、保護者の皆様の五島分校へのご理解ご協力をよろしくお願いします。

鶴南特別支援学校長 中溝浩二